

HDD AV NAVI SYSTEM

取り付けと接続

お買い上げいただきありがとうございます。



警告 本機は、安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故の原因となります。

この「取り付けと接続」および取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この「**取り付けと接続**」および取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

販売店様へのお願い

本機の取り付け後、この「**取り付けと接続**」は、必ずお客様へご返却ください。



NV-XYZ88

NVA-DS1 (インダッシュステーション)

目次

本書は次の製品共通の「取り付けと接続」説明書です。

お客様がお買い上げいただいた商品に応じて、該当する目次とそのページをご覧ください。

- HDD AV ナビシステム NV-XYZ88
- インダッシュステーション NVA-DS1

HDD AV ナビシステム NV-XYZ88

安全のために	4
取り付けに必要な部品を確認する	7
取り付け場所の確認（システムの構成）	9
システム接続例	9
1 インダッシュステーションに接続する	11
拡張ステーションを使用する場合	11
カーステレオに AUX IN がある場合	11
カーステレオに AUX IN がない場合	12
拡張ステーションを使用しない場合	13
カーステレオに AUX IN がある場合	13
カーステレオに AUX IN がない場合	14
2 インダッシュステーションを取り付ける	15
取り付ける前に	15
国産車に取り付ける場合	16
外国車 / 輸入車に取り付ける場合	16
インダッシュステーションを取り付ける	17
3 拡張ステーションを取り付ける	21
拡張ステーションを取り付ける	21
拡張ステーションを接続する	21
車両側と接続する	22
各コードについて	23
周辺機器を接続する	24
4 TV アンテナを取り付ける	25
取り付ける前に	25
フィルムアンテナ取り付けの流れ	25
準備するもの	25
貼り付け位置について	26
5 GPS アンテナを取り付ける	33
車内に取り付ける場合	33
車外に取り付ける場合	34
6 リモコンを取り付ける	35
7 取り付けと接続が終わったら	36
XYZ 本体を取り付ける	36
車のエンジンをかけて起動させる	37
故障かな？と思ったら	38

インダッシュステーション NVA-DS1

安全のために.....	4
取り付けに必要な部品を確認する.....	7
取り付け場所の確認（システムの構成）.....	9
システム接続例.....	9
① インダッシュステーションに接続する.....	11
拡張ステーションを使用する場合.....	11
カーステレオに AUX IN がある場合.....	11
カーステレオに AUX IN がない場合.....	12
拡張ステーションを使用しない場合.....	13
カーステレオに AUX IN がある場合.....	13
カーステレオに AUX IN がない場合.....	14
② インダッシュステーションを取り付ける.....	15
取り付ける前に.....	15
国産車に取り付ける場合.....	16
外国車 / 輸入車に取り付ける場合.....	16
インダッシュステーションを取り付ける.....	17
⑦ 取り付けと接続が終わったら.....	36
XYZ 本体を取り付ける.....	36
車のエンジンをかけて起動させる.....	37
故障かな？と思ったら.....	38

警告 安全のために

警告表示の意味

「取り付けと接続」および取扱説明書では、次のような表示をしています。
表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電



手を挟まれないよう注意

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

行為を指示する記号



指示



警告



火災



感電

下記の注意を守らないと**火災・感電により死亡や大けが**の原因となります。

正しく取り付ける

本機をご自分で取り付けるときは、「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けてください。なお、拡張ステーションの取り付けは専門知識が必要です。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。



指示



24V 車に使用しない

本機は DC12V マイナスアース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24V 車で使用すると火災などの原因となります。



禁止

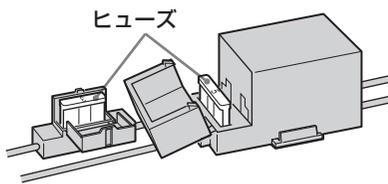


規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、ヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



指示



前方の視界を妨げる場所に取り付けない

前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。



禁止

エアバッグシステムの動作の妨げになる場所に取り付けない

動作の妨げになる場所に取り付けると、けがの原因となります。



禁止



下記の注意を守らないと**火災・感電により死亡**
や**大けが**の原因となります。

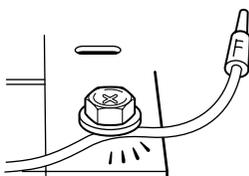
運転操作の妨げや車体の可動部の妨げになる場所に取り付けない

事故や感電、火災の原因となります。
次のことをお守りください。

- ネジやシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まない。
- コード類はまとめる。
- ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。



禁止



雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取り付けない

上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。



禁止

車の性能を維持するための部品を使わない

車体のボルトやナットを利用するとき、次の部品を使うと、制御不能による事故や火災の原因となります。

- ステアリング系統
- ブレーキ系統
- タンク類など



禁止

取り付け、接続作業をするときには、イグニッションスイッチを OFF にするか、キーを抜いておく

イグニッションスイッチを ON にしたまま作業をすると、バッテリーあがりや、ショートによりヒューズ飛びや発煙などの原因となります。



指示

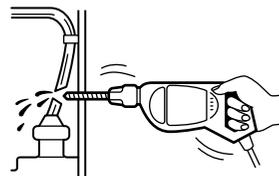


パイプ類、タンク、電気配線などを傷つけない

火災の原因となります。車体に穴を開けて取り付けるときは、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認してください。



禁止

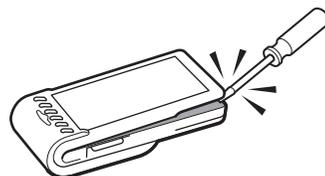


分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。
内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーマービス窓口にご依頼ください。



分解禁止



付属の部品で正しく取り付ける

他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっかり固定できないなどで、火災やけがの原因となります。



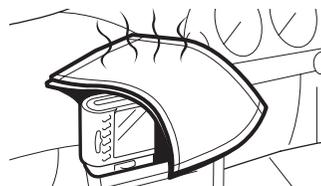
指示

本機の通風口をふさがない

通風口をふさいだ状態で動作させると、内部に熱がこもり、火災の原因となります。



禁止





下記の注意を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

不安定な場所に取り付けない

振動の多いところや、天井などに取り付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となることがあります。



禁止



リモコンはリモコンホルダー以外に置かない

リモコンがブレーキペダルの下などに落下して、運転の妨げになり、事故やけがの原因となることがあります。



禁止

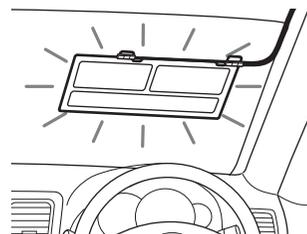


フィルムアンテナを前方の視界を妨げる場所に取り付けない

前方の視界の妨げになると事故やけがの原因となることがあります。「取り付けと接続」の説明に従って正しい場所に取り付けてください。



禁止

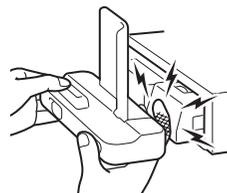


取付台を前後に調整するときは、裏側に指を入れない

指をはさまれ、けがの原因となることがあります。



手を挟まれないよう注意



取り付けに必要な部品を確認する

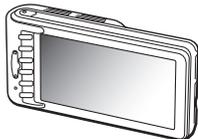
本書は次の製品共通の「取り付けと接続」説明書です。

お客様がお買い上げいただいた商品に応じて、該当する付属品をご覧ください。

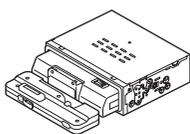
- HDD AV ナビシステム NV-XYZ88
- インダッシュステーション NVA-DS1

HDD AV ナビシステム NV-XYZ88

- ① XYZ (ジーゼット) 本体



- ② インダッシュステーション



- ③ サポーター



- ④ サポーター取り付け用ネジ×3



- ⑥ インダッシュステーション取り付け用トラスネジ×4



- ⑦ インダッシュステーション取り付け用皿ネジ×4



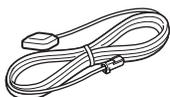
- ⑧ 圧着式コネクタ×3



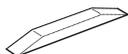
- ⑨ オーディオコード



- ⑩ GPS アンテナ



- ⑪ クッション (GPS アンテナ用)



- ⑫ GPS アンテナ取付板



- ⑬ コードクランパー×3



- ⑭ リモコン



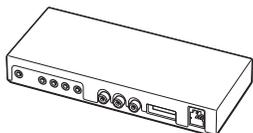
- ⑮ リモコンホルダー



- ⑯ 両面テープ (リモコンホルダー用)



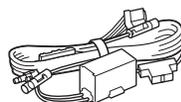
- ⑰ 拡張ステーション



- ⑱ 面ファスナー×2



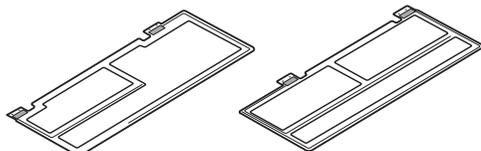
- ⑲ 電源コード



- ⑳ 接続コード



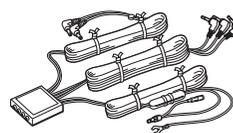
- ㉑ フィルムアンテナ (左右)



- ㉒ アンテナ入力ケーブル (左右)



- ㉓ TV/FM アンテナアンプユニット



- ㉔ アーステープ



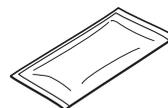
- ㉕ スキージ (へら)



- ㉖ アンテナ用コードクランパー×10

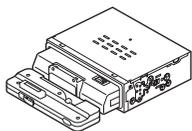


- ㉗ アンテナ用クリーニングクロス×2



インダッシュステーション NVA-DS1

- ② インダッシュステーション



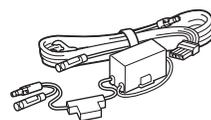
- ③ サポーター



- ④ サポーター取り付け用ネジ×3



- ⑤ 電源コード



- ⑥ インダッシュステーション取り付け用トラスネジ×4



- ⑦ インダッシュステーション取り付け用皿ネジ×4



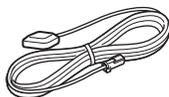
- ⑧ 圧着式コネクタ×3



- ⑨ オーディオコード



- ⑩ GPS アンテナ



- ⑪ クッション (GPS アンテナ用)



- ⑫ GPS アンテナ取付板

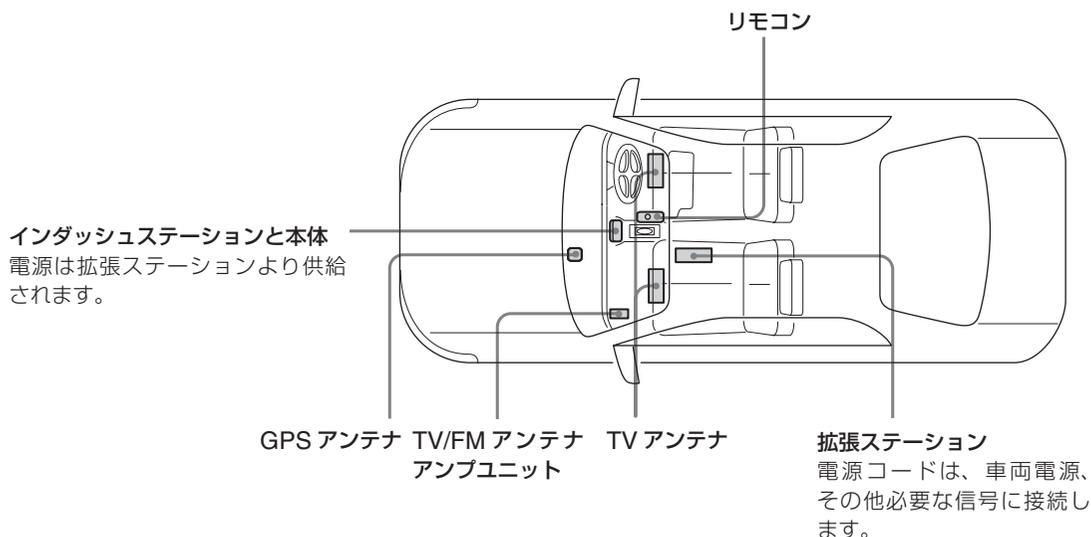


- ⑬ コードランパー×3



取り付け場所の確認（システムの構成）

HDD AV ナビシステム NV-XYZ88 のシステム構成は、次のとおりです。



システム接続例

お使いのカーステレオに AUX IN 端子がある場合

インダッシュステーションとカーステレオをオーディオコード⑨で接続し、カーステレオから音声を出力します。

XYZ 本体から出力される音声はナビゲーションのみです。ナビゲーション以外（テレビ、ビデオ、音楽など）の音声を聞くためには、カーステレオとの接続が必要です。

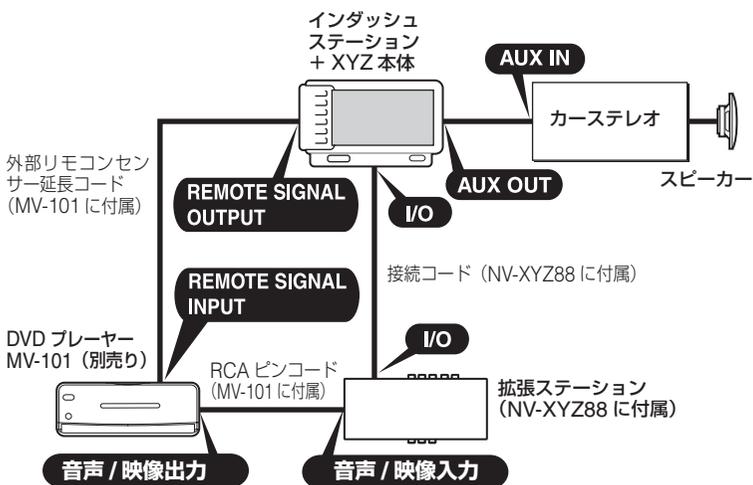
NV-XYZ88/NVA-DS1（拡張ステーションを使用する場合）

ちょっと一言

ナビゲーション以外の音声は、別売りのオーディオコードを使用して、カーステレオと拡張ステーションを接続して聞くこともできます。

ちょっと一言

インダッシュステーションには、別売り DVD プレーヤー MV-101 用のリモコン受光部があります。右図のように接続すると、MV-101 のリモコンをインダッシュステーションの受光部に向けて使用できます。



1

インダッシュステーションに接続する

インダッシュステーションを取り付ける前に、インダッシュステーションと次の機器との接続を行います。

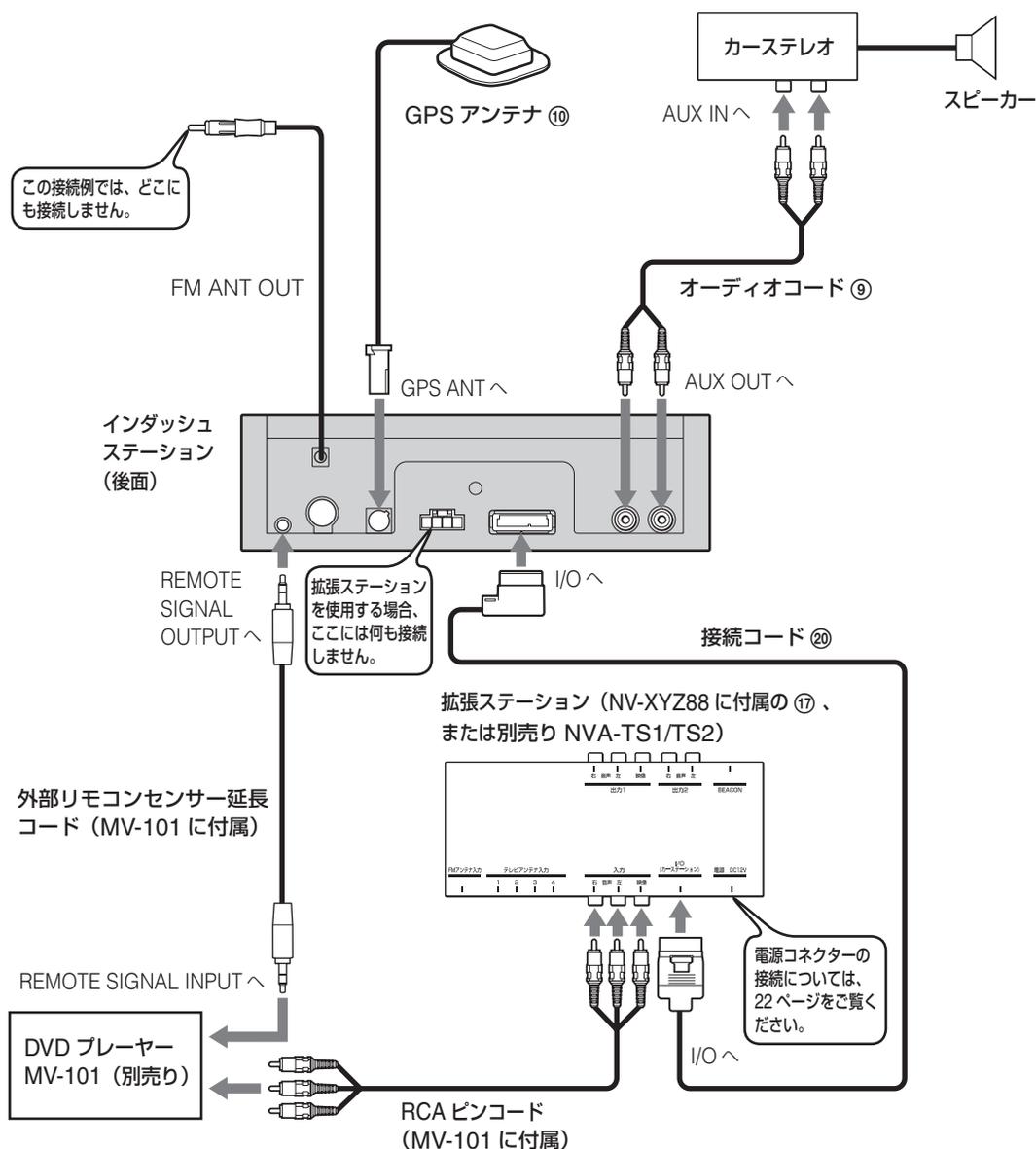
- 拡張ステーション（NV-XYZ88：必ず接続してください。NVA-DS1：別売りです。）
- GPS アンテナ
- カーステレオ（XYZ 本体から出力される音声はナビゲーションのみです。テレビ、ビデオ、音楽などナビゲーション以外の音声を聞くためには、カーステレオとの接続が必要です。）

「各コードについて」（23 ページ）もご覧ください。また、接続先の機器に付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

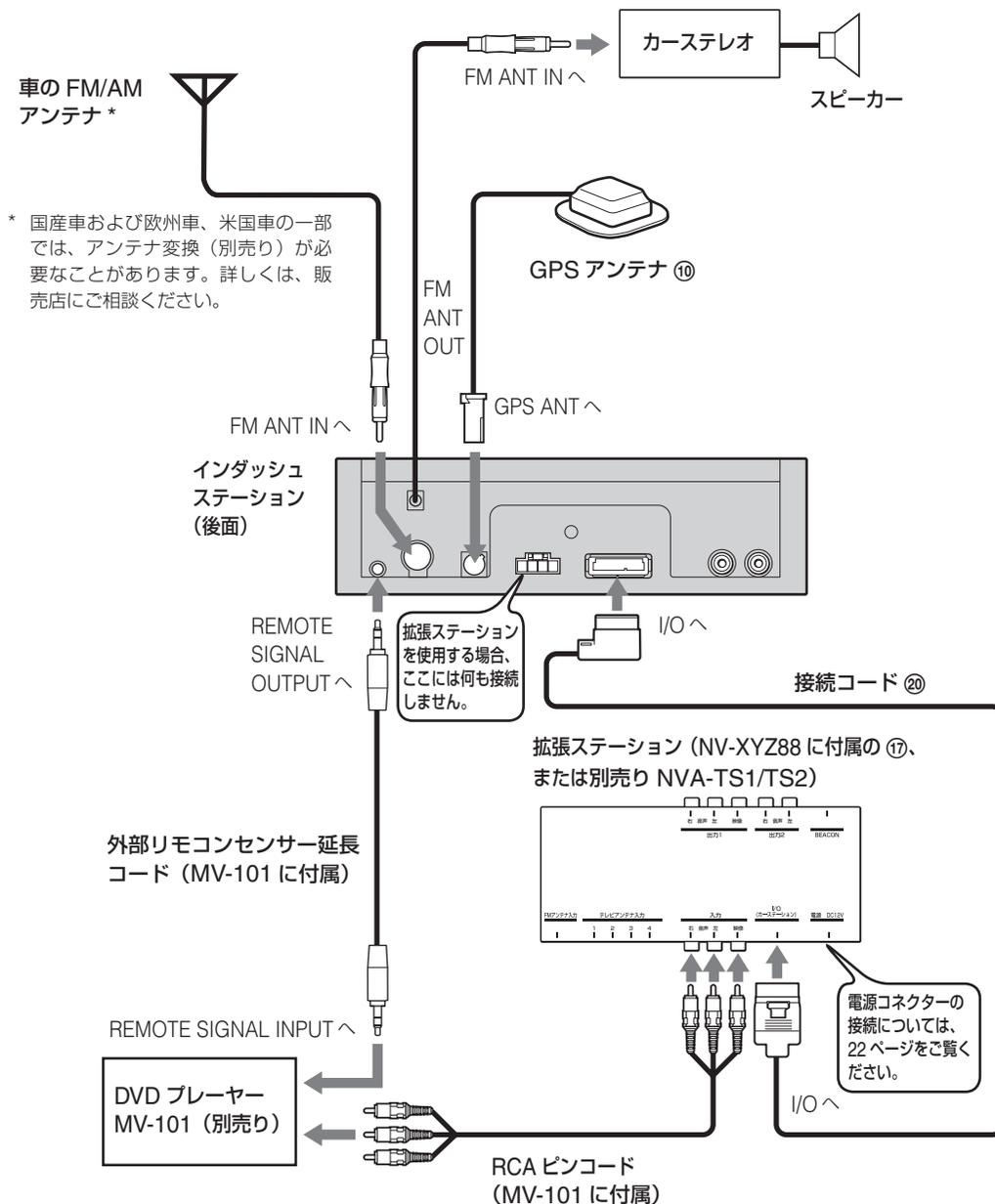
拡張ステーションを使用する場合

- 電源は拡張ステーションから XYZ 本体に供給されます。
- NVA-DS1 をお買い求めの場合、NVA-DS1 に付属の電源コードは使用しません。

カーステレオに AUX IN がある場合



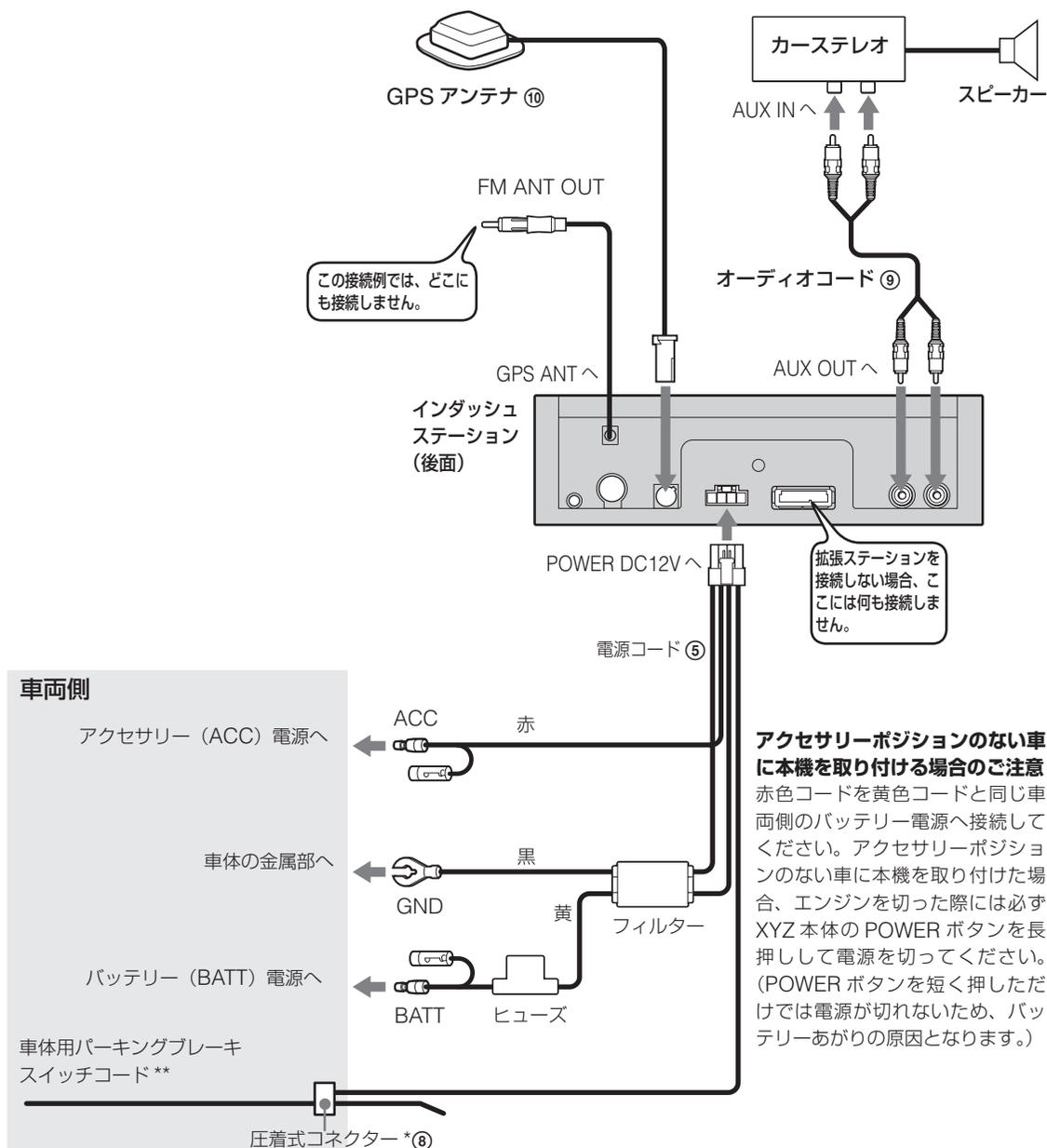
カーステレオに AUX IN がない場合



拡張ステーションを使用しない場合

NVA-DS1 に付属の電源コード⑤を使って電源を接続します。

カーステレオに AUX IN がある場合



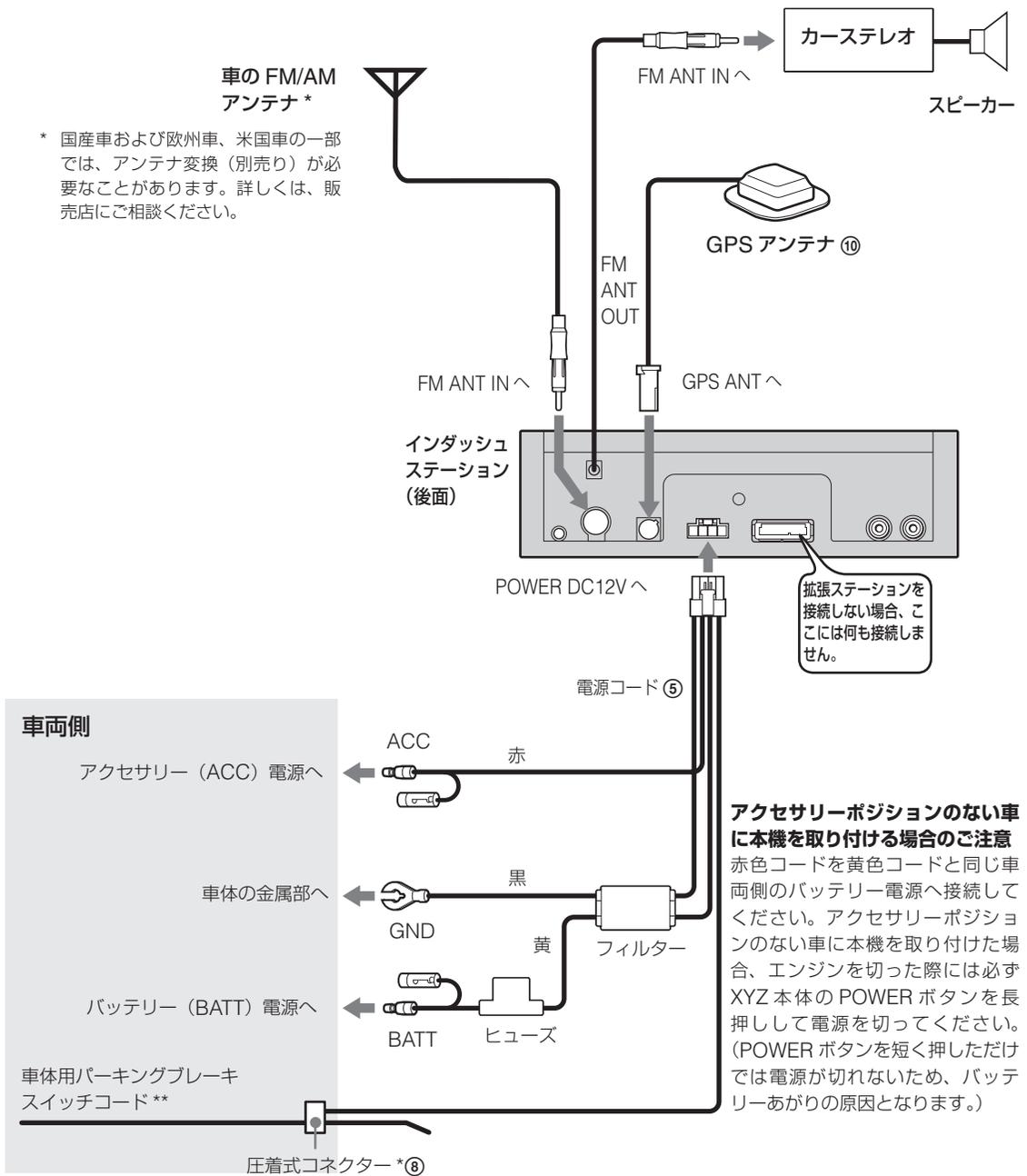
* 圧着式コネクターの使いかたは、23 ページをご覧ください。

** パーキングブレーキスイッチコードの位置は車種により異なります。接続の位置や接続方法について、詳しくは 23 ページと「ソニー FAX インフォメーションサービス」または SonyDrive (裏表紙に記載) をご覧ください。

ご注意

- パーキングブレーキスイッチコードへの接続は安全のために必ず行ってください。パーキングブレーキスイッチコードは、車が走行中か停車中かを検知するために接続します。本機は安全のため、走行中にはテレビやビデオなどの動画表示は行わず、簡単な操作のみが行えるようになっています。パーキングブレーキスイッチコードを接続しないと、本機は常時走行中と認識し、動画表示時には音声のみとなり、安全のためのメッセージを表示します。また、各種設定、登録など詳細な操作ができなくなります。
- 電源コード、GPS アンテナ、オーディオコードなどの各コードは、できるだけ離して取り付け、設置してください。テレビ画面が乱れることがあります。

カーステレオに AUX IN がない場合



* 圧着式コネクターの使いかたは、23 ページをご覧ください。

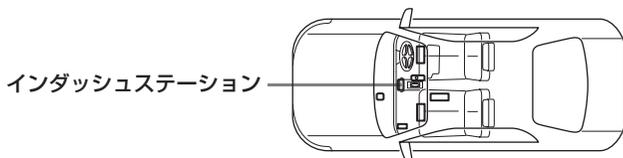
** パーキングブレーキスイッチコードの位置は車種により異なります。接続の位置や接続方法について、詳しくは 23 ページと「ソニー FAX インフォメーションサービス」または SonyDrive (裏表紙に記載) をご覧ください。

ご注意

- パーキングブレーキスイッチコードへの接続は安全のために必ず行ってください。パーキングブレーキスイッチコードは、車が走行中か停車中かを検知するために接続します。本機は安全のため、走行中にはテレビやビデオなどの動画表示は行わず、簡単な操作のみが行えるようになっています。パーキングブレーキスイッチコードを接続しないと、本機は常時走行中と認識し、動画表示時には音声のみとなり、安全のためのメッセージを表示します。また、各種設定、登録など詳細な操作ができなくなります。
- 電源コード、GPS アンテナ、オーディオコードなどの各コードは、できるだけ離して取り付け、設置してください。テレビ画面が乱れることがあります。

2

インダッシュステーションを取り付ける



取り付け位置

前方視界を妨げることのないようにセンターコンソールやインダッシュの高い位置に取り付けてください。2DIN サイズの場合は、なるべく上段に取り付けてください。

ご注意

ユニット同士やコード類は離してください。近づけて設置すると、テレビ画面にノイズが出ることがあります。

取り付ける前に

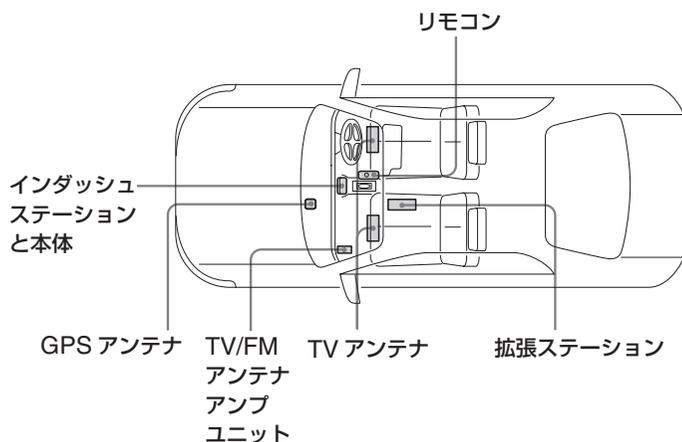
正しい位置に確実に取り付け、以下の項目を確認してください。

- XYZ 本体をセットしたときに、エアコンの吹出し口が近いときは吹出し口を閉じてください。
- XYZ 本体をセットしたときに、ハザードランプスイッチなどがモニターの後ろに隠れずに、すぐに押せることを確認してください。
- 取り付けは慎重に行ってください。インダッシュステーションを落下させたり、ぶつけたり、無理な取り付けを行うと、シャーシーが歪んで故障の原因となります。

1 イグニッションキーを OFF にするか、キーを抜いておく

2 仮置きして（下図参照）、ケーブルの長さなどを確認する

下図のように取り付けられるかどうか、取り付ける車に合わせて各ユニットを配置してください。



3 取り付け車種に合わせた準備をする

センターコンソールやインダッシュに取り付けるためには、車種により必要な準備が異なります。下記をご確認の上、必要な準備をしてください。

ご注意

国産車および欧州車、米国車の一部では、アンテナ変換（別売り）が必要なことがあります。詳しくは、販売店にご相談ください。

ご注意

GMD-236は、NV-XYZ88には取り付けられません。

国産車に取り付ける場合

トヨタ車や三菱車のほとんどは純正カーステレオをはずして、その後にインダッシュステーションを取り付けられます。ただし、車種（一部のトヨタ車、スバル車など）によっては、クラスターパネルの開口部がインダッシュステーションの寸法より小さい場合があります。

日産車の場合は、別売り取り付けキット GMD-500 のご使用をおすすめします。

マツダ車の場合は、別売り取り付けキット GMD-237 のご使用をおすすめします。

いかなる車種でもクラスターパネルの開口部が下記の寸法どおりになっているか必ず確認してください。寸法どおりになっていない場合は、下記の寸法図を参照して取り付ける車両のクラスターパネルの加工が必要となることがあります。（詳しくはお買い上げ店にご相談ください。）加工する際は、取り付け上の問題がないことを充分確認の上、加工を行ってください。

外国車 / 輸入車に取り付ける場合

欧州車またはフォード車の場合、別売りの取り付けキット GMD-237 のご使用をおすすめします。

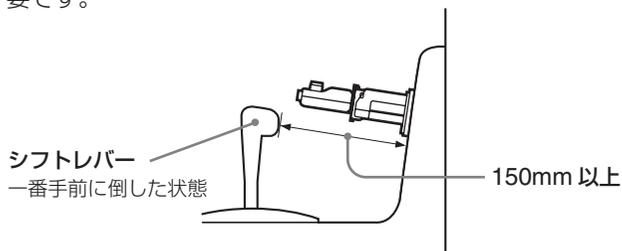
いかなる車種でもクラスターパネルの開口部が下記の寸法どおりになっているか必ず確認してください。寸法どおりになっていない場合は、下記の寸法図を参照して取り付ける車両のクラスターパネルの加工が必要となることがあります。（詳しくはお買い上げ店にご相談ください。）加工する際は、取り付け上の問題がないことを充分確認の上、加工を行ってください。

クラスターパネル寸法図



取り付け時のご注意

- XYZ 本体を取り付けるには、シフトレバーを一番前にした状態からインダッシュステーションの取り付け面まで 150mm 以上が必要です。



- シフトレバーの位置によっては、XYZ 本体が当たる場合があります。シフトレバーを一番前にしたときに、運転の操作の妨げにならないことを確認してください。
- インダッシュステーションとカーステレオ（1DIN タイプ）を重ねて取り付ける場合は、インダッシュステーションを上段に取り付けます。

インダッシュステーションを取り付ける

1 純正カーステレオを取りはずす

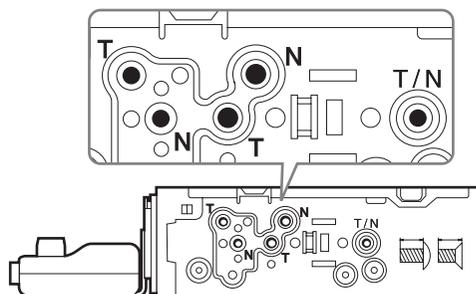
センターコンソールやインダッシュから純正カーステレオを取りはずし、カーステレオを取り付けていた純正ブラケットを利用して、インダッシュステーションを取り付けます。

取りはずしかたが分からない場合は、「ソニー FAX インフォメーションサービス」または SonyDrive（裏表紙に記載）をご利用になるか、お買い上げ店にご相談ください。

2 インダッシュステーションに純正ブラケットを取り付ける

インダッシュステーションに純正ブラケットを取り付け、純正カーステレオと一緒にインダッシュに取り付けます。

インダッシュステーション側面に刻印されているマークにブラケットの取り付けネジ穴を合わせて、付属のネジ ⑥ または ⑦ で取り付けてください。



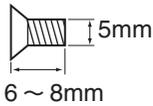
ご注意

- 本体のフロントパネルやインダッシュステーションに強い力を加えたりしないでください。
- インダッシュステーションの上に物をはさみ込まないでください。

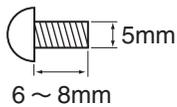
ご注意

- 取り付けネジは、必ず付属の皿ネジ⑦またはトラスネジ⑥で取り付けてください。万一、紛失などにより他のネジで取り付けの場合は、必ず次のサイズのものをお使いください。

皿ネジ (M5)



トラスネジ (M5)

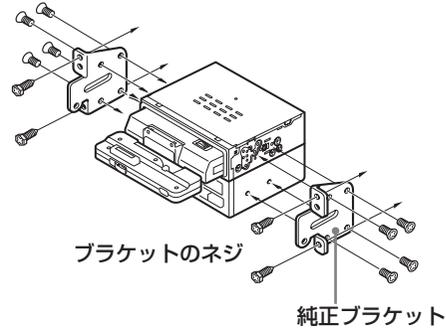


- 車両側の純正ブラケット、またはGMD-237をお使いの場合は、付属の取り付けパネを必ずお使いください。インダッシュステーションに直接ネジを締め付けると故障の原因となります。

トヨタ車/三菱車の場合 (イラストはトヨタ車の場合)

純正ブラケットをインダッシュステーションに取り付けます。

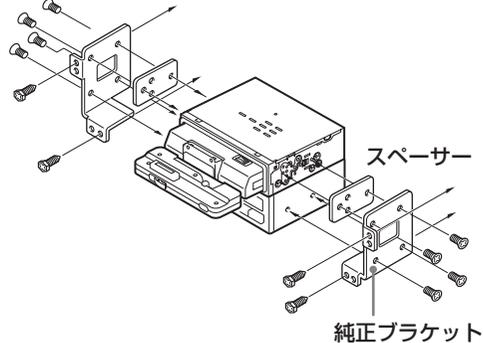
- 1 インダッシュステーション側面の、[T] (トヨタ車用/三菱車用) の刻印のあるネジ穴に、純正ブラケットの取り付けネジ穴を合わせる。
- 2 下記の付属のネジで取り付ける。
トヨタ車に取り付ける場合：皿ネジ⑦
三菱車に取り付ける場合：トラスネジ⑥



日産車の場合

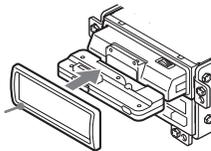
純正ブラケットをインダッシュステーションに取り付けます。

- 1 インダッシュステーション側面の、[N] (日産車用) の刻印のあるネジ穴に、ブラケットの取り付けネジ穴を合わせる。
- 3 付属の皿ネジ⑦で取り付ける。
パネルとスペーサーは別売り取り付けキット GMD-500 に付属されています。



3 パネルまたは飾り板を取り付ける (GMD-500 または GMD-237 をお使いの場合)

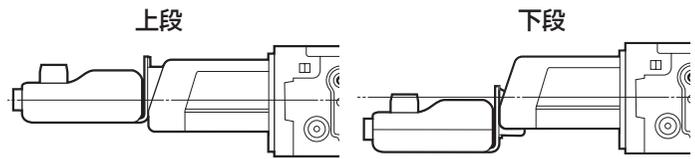
パネルまたは飾り板
(別売り取り付けキット
GMD-500 または GMD-
-237 に付属)



4 手順2、3で組み合わせたものをインダッシュへ取り付ける

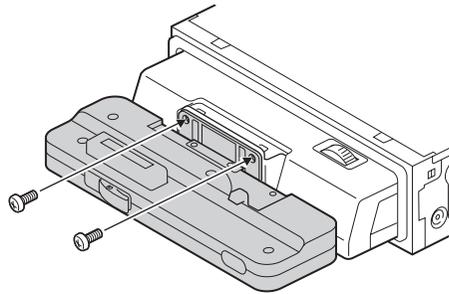
5 本体取り付け部の上下の位置を設定する

インダッシュステーションのXYZ本体取り付け部は、上段か下段のどちらかを選べるようになっています。画面の見やすさや操作のしやすさ、また車種やお好みに応じてお選びください。（ご購入時には下段に設定されています。）

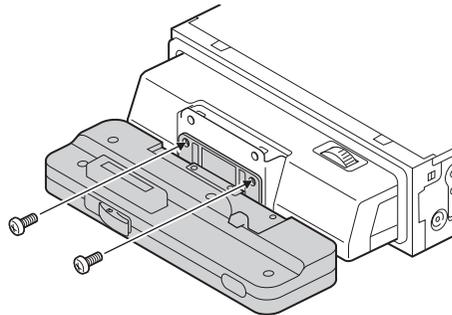


（上段 / 下段の高さの差は、約 14mm です。）

XYZ 本体取り付け部を上段に設定する場合



XYZ 本体取り付け部を下段に設定する場合

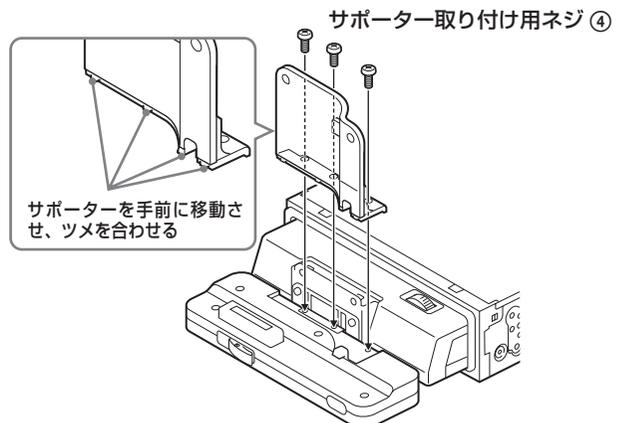


ご注意

XYZ 本体を取り付けるときは、必ずサポーターのある状態で取り付けてください。サポーターがない状態で本体を取り付けると落下などによりXYZ 本体が壊れる場合があります。

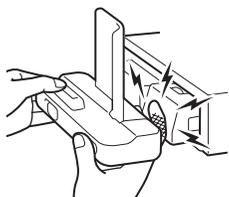
6 サポーターを取り付ける

付属のサポーター取り付け用ネジ④で、サポーターを取り付けます。

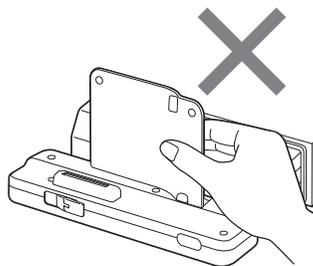


ご注意

- 前後の調整を行うときには、以下の点にご注意ください。
 - 必ずXYZ本体をはずした状態で行ってください。
 - 後ろに調整するときには、指をはさまないように、ゆっくり行ってください。

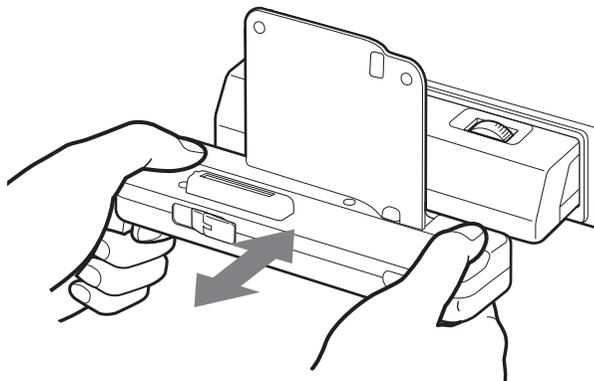


- サポーター部を持って引き出さないでください。



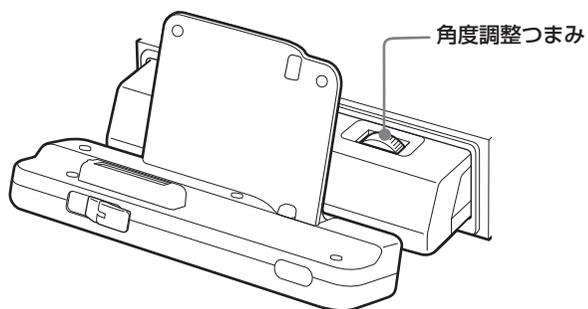
7 前後の位置を調整する

本体取り付け部を両手で引き出して、前後の位置を調整します。

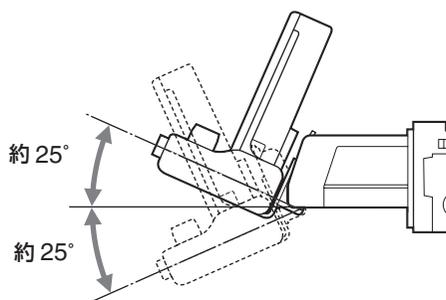


8 角度の調整をする

角度調整つまみを回して調整します。



下図の範囲で調整することができます。

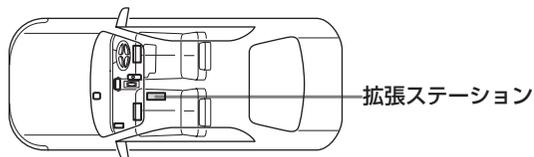


3

拡張ステーションを取り付ける

NV-XYZ88 に付属の拡張ステーション ⑰ を使用すると、次のような機能が使えます。

- テレビ放送や FM VICS 情報を受信する
- 別売りのビーコンユニットやバックカメラを接続する
- 車速パルスと自律センサーによって、GPS アンテナで受信できない場所でも自車位置を表示する



ご注意

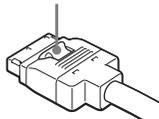
- 取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。
- 次のような場所への取り付けは避けてください。
 - 一 高温になる所
 - 一 直射日光が当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける場所など、温度が極端に高い所
- 面ファスナーは、底面の銘板を避けて貼ってください。

ご注意

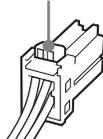
拡張ステーション (NV-XYZ88 に付属、または別売り NVA-TS1/TS2) を接続する場合、インダッシュステーションの電源は、拡張ステーションから供給されるので、インダッシュステーション用電源コード ⑨ は使用しません。

コネクターの着脱のしかた

カチッと音がするまで確実に差し込み、はずすときはこの部分を押しながら引っ張る。



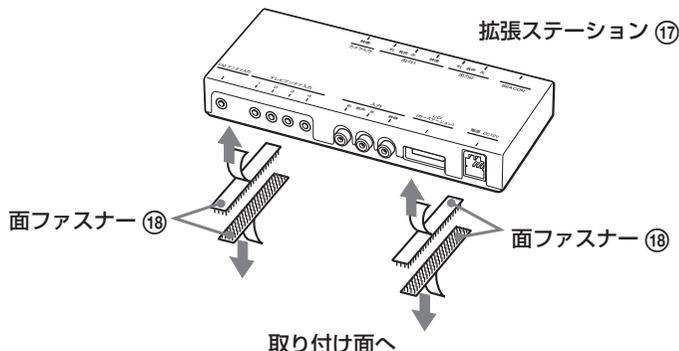
カチッと音がするまで確実に差し込み、はずすときはこの部分を押しながら引っ張る。



拡張ステーションを取り付ける

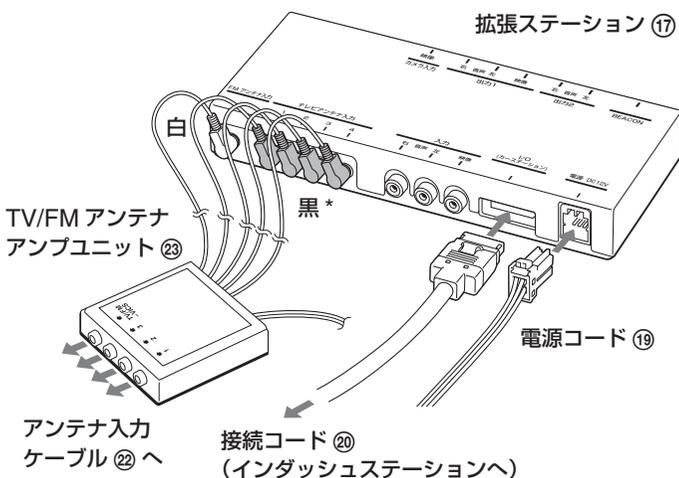
精度よく自車位置を読み取るために、必ず水平 5 度以内に、しっかりと取り付けてください。

面ファスナー ⑱ を必要な分だけ切り、カーペットなどに取り付ける



拡張ステーションを接続する

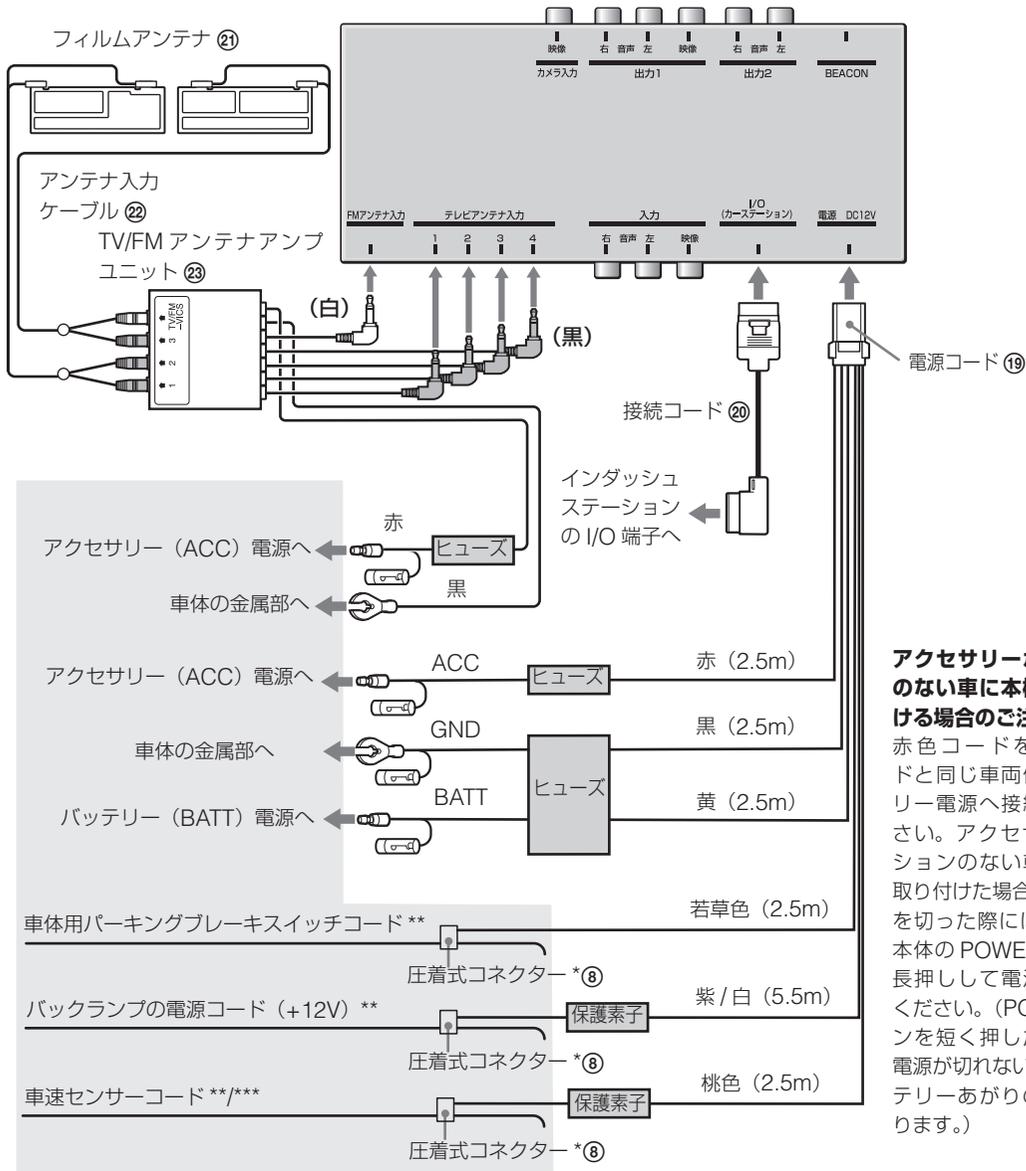
「車両側と接続する」(22 ページ) もあわせてご覧ください。



* 黒のアンテナコード 1 ~ 4 は、どのアンテナ端子に接続しても構いません。

車両側と接続する

- 車のバッテリー（常時）電源、ACC（アクセサリ）電源から電源をとります。
- 車の车速センサーコードやバックランプの電源コードと接続します。自律航法機能や、バックカメラ（別売り）接続時のバックカメラの自動切換機能をお使いいただけます。



アクセサリポジションのない車に本機を取り付ける場合のご注意

赤色コードを黄色コードと同じ車両側のバッテリー電源へ接続してください。アクセサリポジションのない車に本機を取り付けた場合、エンジンを切った際には必ずXYZ本体のPOWERボタンを長押しして電源を切ってください。（POWERボタンを短く押しただけでは電源が切れないため、バッテリーあがりの原因となります。）

- * 保護素子がある場合は、圧着式コネクタは保護素子よりコード先端側で使用してください。本体側に接続すると故障の原因になり、正しく動作しないことがあります。圧着式コネクタの使いかたは、23ページをご覧ください。
- ** パーキングブレーキスイッチコード、バックランプの電源コード、车速センサーコードの位置は車種により異なります。接続の位置や接続方法について、詳しくは23ページと「ソニー FAX インフォメーションサービス」または SonyDrive（裏表紙に記載）をご覧ください。
- *** 本機はデジタルパルス入力を想定しています。アナログパルスを発生する車に接続するには、別売りの车速パルス発生器XA-200Sを取り付けてください。（車種やタイヤによっては取り付けられない場合があります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。）

ご注意

- パーキングブレーキスイッチコードへの接続は安全のために必ず行ってください。パーキングブレーキスイッチコードは、車が走行中か停車中かを検知するために接続します。本機は安全のため、走行中にはテレビやビデオなどの動画表示は行わず、簡単な操作のみが行えるようになっています。パーキングブレーキスイッチコードを接続しないと、本機は停車中でも常時走行中と認識し、動画表示時には音声のみとなり、安全のためのメッセージを表示します。また、各種設定、登録など詳細な操作ができなくなります。
- 接続コード⑳、電源コード㉑などの各コードは、できるだけ離して取り付け、設置してください。接近した状態で設置すると、テレビ画面が乱れることがあります。

各コードについて

本機の接続コードの色は、JEITA コードカラーに準拠しています。

* JEITA は、(社) 電子情報技術産業協会の略称です。

ちょっと一言

右表にある車両側の各コードの位置は、取り付ける車両によって異なりますので、「ソニー FAX インフォメーションサービス」または SonyDrive (裏表紙参照) をご利用になるか、お買い上げ店にご相談ください。

電源コードの色 (XYZ 本体側)	接続先 (車両側)
桃色 (車速信号入力) コード	車速センサーコード
紫/白色 (バック信号入力) コード	バックランプの電源コード
若草色 (パーキングブレーキ) コード	パーキングブレーキスイッチコード

圧着式コネクターの使いかた

車両側の各コード (上記表参照)

圧着式コネクタ ⑧

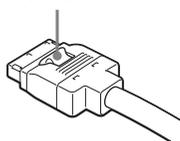
本体側のコード (上記表参照)

コネクターの着脱のしかた

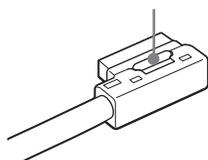


確実に差し込み、はずすときはこの部分を押しながらかき上げる。

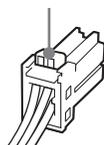
カチッと音がするまで確実に差し込み、はずすときはこの部分を押しながらかき上げる。



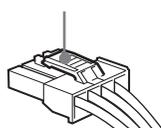
カチッと音がするまで確実に差し込み、はずすときはこの部分を押しながらかき上げる。



カチッと音がするまで確実に差し込み、はずすときはこの部分を押しながらかき上げる。



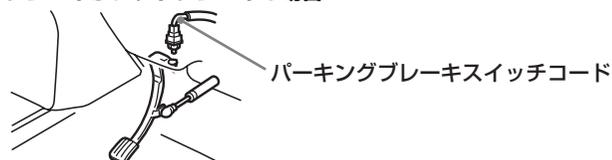
カチッと音がするまで確実に差し込み、はずすときはこの部分を押しながらかき上げる。



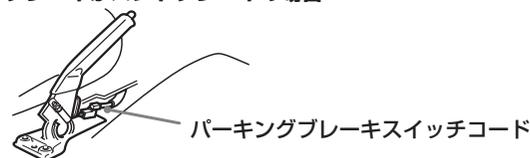
パーキングブレーキスイッチコードの位置について

パーキングブレーキスイッチコードの位置は車両によって異なります。下図は代表的な例ですが、詳しくはお買い上げ店にご相談ください。

パーキングブレーキがフットブレーキの場合



パーキングブレーキがハンドブレーキの場合



ちょっと一言

車の車速センサーコード、バックランプの電源コードとの接続には、次の役割がありますので、内容をご確認の上、必要とお好みに応じて接続するかどうかを決めてください。

- 車速センサーコードと接続すると、自律航法機能*が使用できます。車速センサーコードと接続した場合は、必ずバックランプの電源コードとの接続も行ってください。接続しないと、バック時に自車位置表示がずれてしまいます。
- バックランプの電源コードと接続すると、バックカメラ (別売り) 接続時に、バックカメラの自動切替機能**を使用できます。また、車速センサーコードと接続をした際には、車が後方向に進んでいることを検知します。

* 自律航法機能: トンネル内やビルの谷間などで GPS が受信できない時にも、自車位置を表示します。

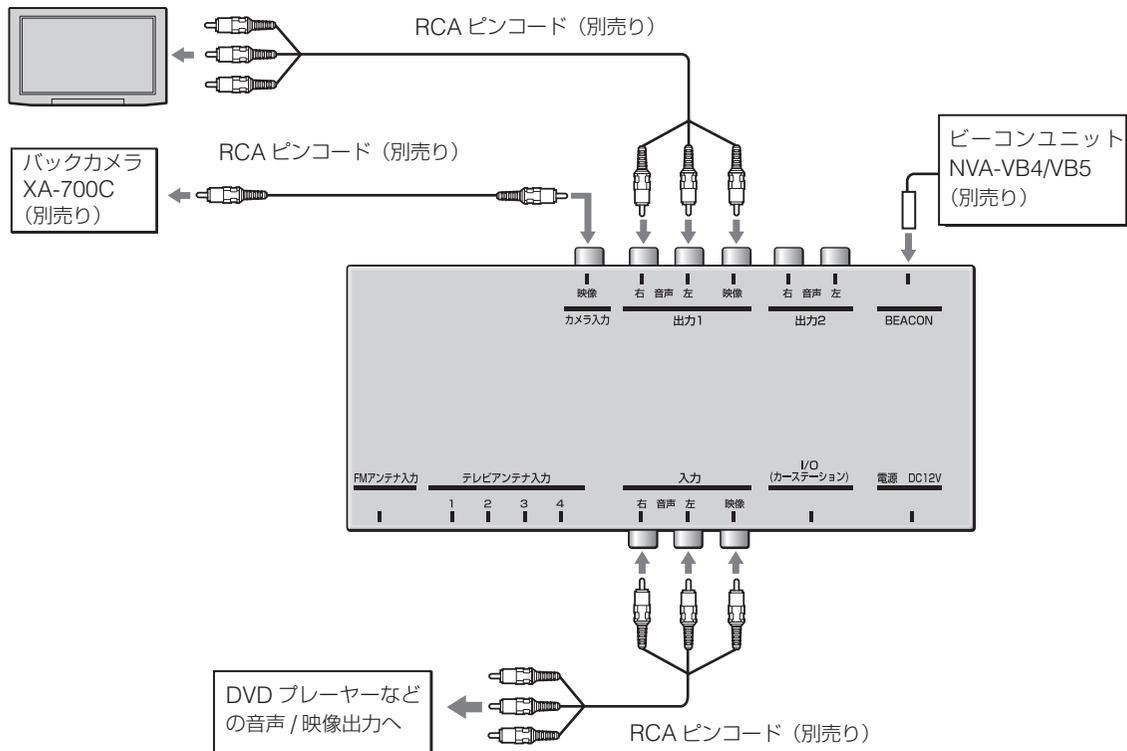
** バックカメラの自動切替機能: シフトレバーをバックに入れると、バックカメラの画面に自動切替します。この機能を使うには、事前にメニュー設定が必要です。詳しくは本体取扱説明書をご覧ください。

ご注意

必ず接続先の機器に付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

周辺機器を接続する

リアモニター (別売り)



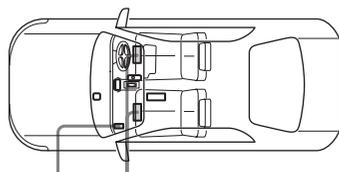
ちょっと一言

別売りの DVD プレーヤー MV-101 との接続については、11 ページまたは 12 ページをご覧ください。

4

TV アンテナを取り付ける

フィルムアンテナ ⑳ を車両に取り付け、拡張ステーションに接続します。
接続については、「車両側と接続する」(22 ページ) もあわせてご覧ください。



TV/FM アンテナ TV アンテナ
アンプユニット

取り付ける前に

- 車種によっては、取り付けられない場合があります。下記のような場合には、別売りの外付けアンテナをご利用ください。詳しくは、販売店にご相談ください。
 - 電波を通さないガラス（熱線反射ガラス、断熱ガラス、電波不透過ガラスなど）を使用した車両では、受信感度が著しく低下します。
 - フロントピラーにエアバックを搭載している車両には、取り付けられません。
- フロントウィンドウの指定位置に指定寸法内で取り付けてください。
 - 「貼り付け許容範囲について」(次ページ) をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。道路運送車両の保全基準に適合させるため、貼り付け許容範囲からはみ出さないように貼り付けてください。
 - フロントガラスに FM/AM ラジオアンテナが内蔵されている場合は、干渉を避けるため、アンテナが重ならないように貼り付けてください。
 - 付属のフィルムアンテナはフロントウィンドウ専用です。リアウィンドウなど他の場所に取り付けると、受信感度が著しく低下します。
 - 取り付け手順の中で、アースを取るために、フロントピラーの内張りをはずす必要があります。お客様自身が取り付けをされる際に、フロントピラーの内張りの取りはずし作業が困難な場合は、車のお買い上げ店やディーラーにお問い合わせください。(作業工費はお客様にご負担いただく場合があります。)

フィルムアンテナ取り付けの流れ

取り付けの手順は次のとおりです。

- 1 フィルムアンテナの貼り付け位置やケーブルの引き回しなどを検討する。
- 2 フィルムアンテナの貼り付け位置を確認する。
- 3 フロントウィンドウ両端のフロントピラー（内張り）を取りはずす。
- 4 フィルムアンテナをフロントガラスに貼り付ける。
- 5 フィルムアンテナが完全に乾いていることを確認してから、アンテナ入力ケーブルをフィルムアンテナに取り付ける。
- 6 アンテナ入力ケーブルを車に配線する。
- 7 TV/FM アンテナアンプユニットを取り付ける。
- 8 フロントピラー（内張り）を元に戻す。
- 9 コードを処理する。

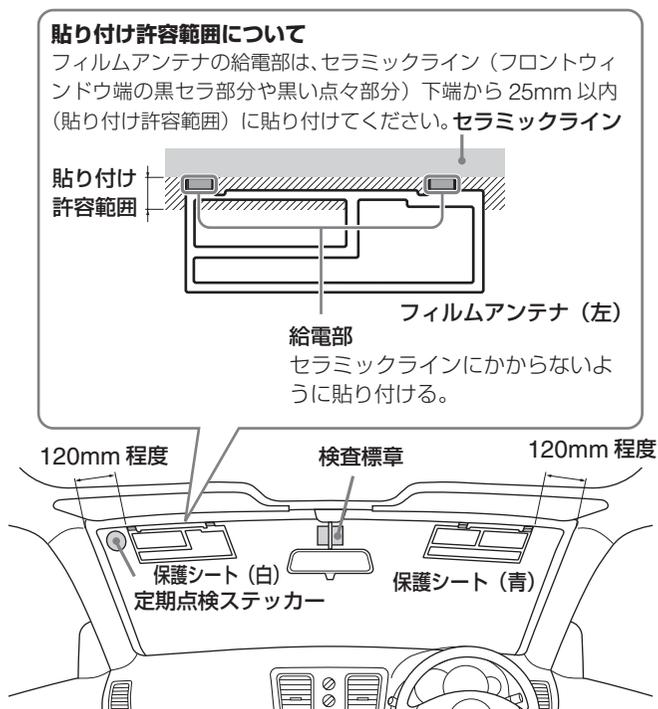
準備するもの

次のものを準備してください。

- 工具（プラスドライバーなど）
- セロハンテープ
- はさみ
- 霧吹き（水 500cc、中性洗剤を 1～2 滴入れておく）
- ペーパータオル

貼り付け位置について

- フィルムアンテナは、検査標章や定期点検ステッカーと重ならないように貼り付けてください。(目安としては、フロントウィンドウの端から 120mm 程度離れた位置です。)
- フィルムアンテナは、フロントウィンドウの車内側に貼り付けてください。それ以外の場所には貼り付けしないでください。
- 道路運送車輛の保安基準第 29 条第 4 項第 7 号に適合させるため、また、性能を十分に発揮させるために、必ず下図の位置に貼り付けてください。
- 左ハンドル車の場合も、左右逆には貼り付けず、下図のとおり貼り付けてください。

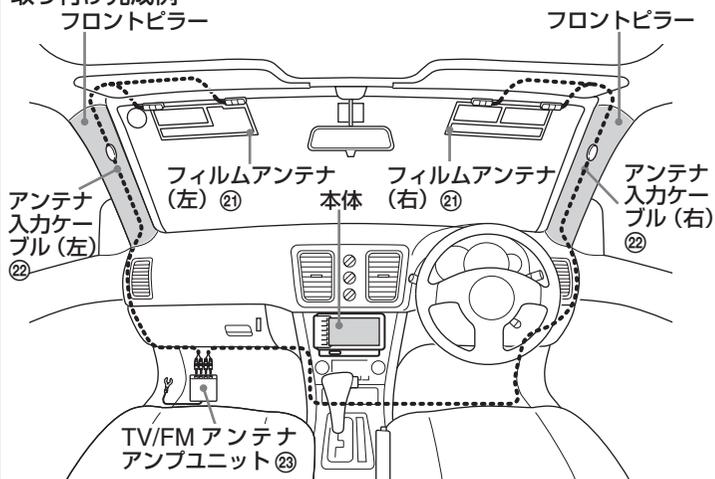


ご注意

ケーブルとフィルムアンテナを仮止めし、ケーブルの引き回しなどを十分に検討してから作業を開始してください。

1 フィルムアンテナの貼り付け位置やケーブルの引き回しなどを検討する

取り付け完成例



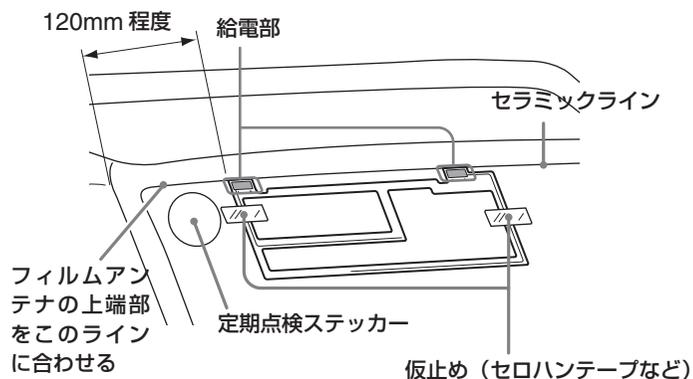
ご注意

フィルムアンテナを一度取り付けると、粘着力が弱くなるため、貼り直しできません。必ずケーブルとフィルムアンテナを仮止めし、ケーブルの引き回しなどを十分に検討してから貼り付けてください。

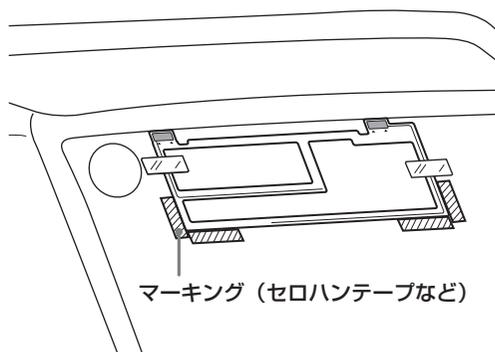
2 フィルムアンテナ ②① の貼り付け位置を確認する

1 フィルムアンテナの給電部をセラミックラインの下端に合わせ、セロハンテープなどで仮止めする。

ここではフィルムアンテナのはくり紙をはがさないでください。下図は車内側から見た左側の例です。右側も同様に貼り付けます。



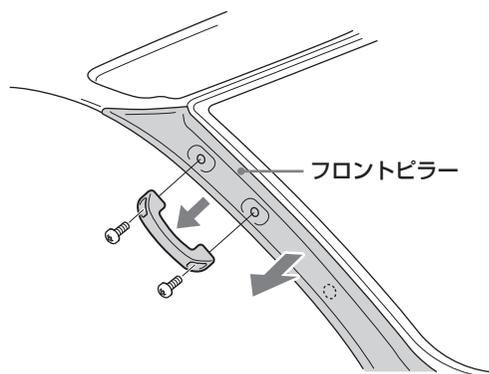
2 フィルムアンテナの左右位置を、セロハンテープなどでマーキングする。



3 フロントウィンドウ両端のフロントピラー (内張り) を取りはずす

ご注意

- フロントピラーの内張りはクリップやネジなどで固定されており、無理にはずすと、破損したり変形したりすることがあります。
- お客様自身が取り付けをされる際に、フロントピラーの内張りの取りはずし作業が困難な場合は、車のお買い上げ店やディーラーにお問い合わせください。(作業工費はお客様にご負担いただく場合があります。)



(上図は、ワンボックスやRVタイプなど、フロントピラー部にハンドルが装着されている車の取りはずし例です。)

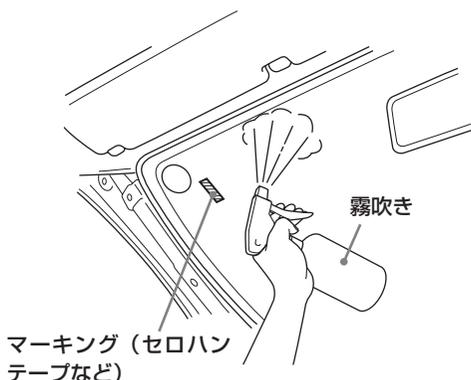
4 フィルムアンテナ ②① をフロントガラスに貼り付ける

貼り付ける前に

- 付属のアンテナ用クリーニングクロス②②で、取り付け面の油やワックス、ほこりなどを拭きとっておいてください。
- 仮止めしたフィルムアンテナを取りはずしてから、貼り付けてください。
- ダッシュボードを水や洗剤で汚さないように、布やシートなどで覆ってください。
- フロントウィンドウの汚れ（ごみ、油など）やくもり止めを拭き取ってから作業してください。

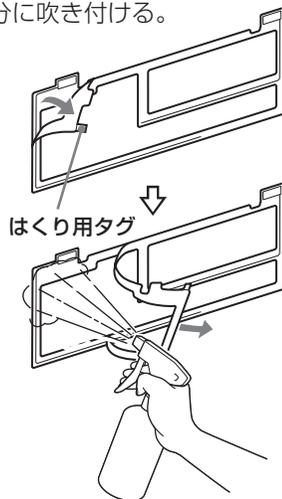
- 1 中性洗剤の水溶液を、霧吹きなどでフロントウィンドウ（車内側）に、十分に吹き付ける。

水 500cc に対して中性洗剤 1～2 滴が適量です。（水だけではうまく微調整できません。）



- 2 フィルムアンテナの貼り付け面側の透明シートをはがし、貼り付け面に中性洗剤の水溶液を十分に吹き付ける。

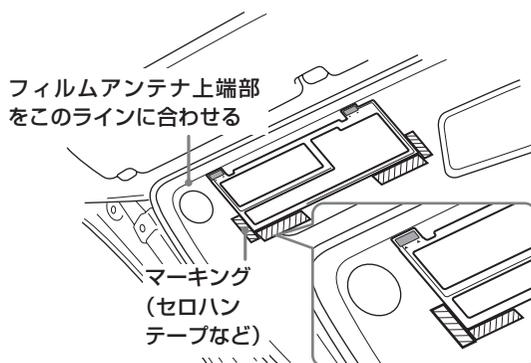
- はくり用タグを持ち、ゆっくりとはがしてください。
- 反対側（車内側）の給電部保護シートは、まだはがさないでください。手順 4 ではがします。
- フィルムアンテナの貼り付け面に、指紋やほこりなどが付かないように注意してください。



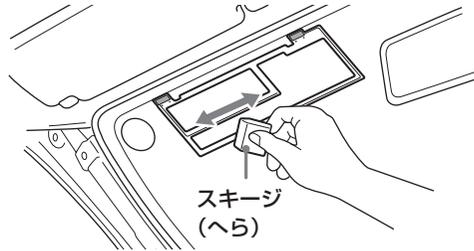
- 3 フィルムアンテナを貼り付ける。

貼り付け時のご注意

- フィルムアンテナの形状は左右で異なります。手順の図のとおり貼り付けてください。
- 上下位置はセラミックラインの下端に合わせ、左右位置はマーキング（セロハンテープなど）に合わせて貼り付けてください。
- 作業中にフロントウィンドウを乾かさないように、中性洗剤の水溶液を吹き付けながら作業してください。
- フロントウィンドウが濡れているうちに、貼り付けたフィルムアンテナをずらして、位置を微調整してください。
- 位置が決まったら、マーキングをはがしてください。



- 4 付属のスキージ（へら）㉔でフィルムアンテナをしっかりと密着させる。
- フィルムアンテナが動かないように押さえながら作業してください。
 - フィルムアンテナの中央部分から先に作業すると、きれいに貼り付けることができます。
 - アンテナにそって、気泡が入らないようにしっかりと密着させてください。
 - あまり強くこすらないでください。



- 5 ペーパータオルなどで中性洗剤の水溶液を拭き取り、十分に乾燥させる。
3～4時間放置することをおすすめします。
ドライヤーなどで無理に乾かさないでください。フィルムアンテナの破損の原因となります。

ご注意

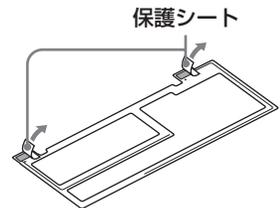
乾く前に作業を始めると、フィルムアンテナがはがれやすくなります。

5 フィルムアンテナが完全に乾いていることを確認してから、アンテナ入力ケーブルをフィルムアンテナ㉑に取り付ける

フィルムアンテナは、保護シートの色で左右が区別できます

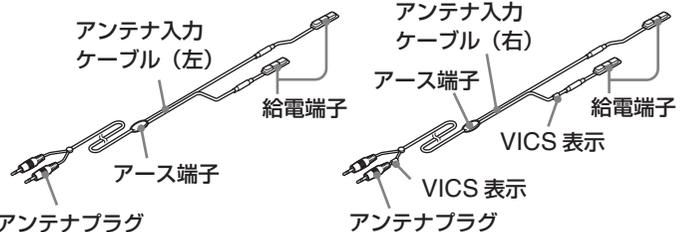
保護シートの色は、車内から見て右側が青、左が白です。左右を間違えないように貼り付けてください。

- 1 フィルムアンテナの給電部保護シートをはがす。



- 2 アンテナ入力ケーブルの給電端子㉒を、フィルムアンテナの給電部に取り付ける。

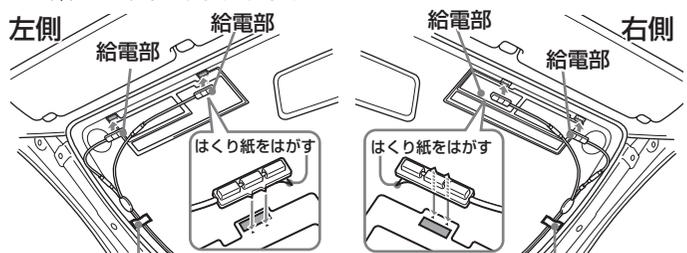
- 左右のケーブルを間違えずに貼り付けてください。



アンテナケーブルは、VICS表示で左右が区別できます

VICS表示があるのが右側用です。

- アース端子付近をセロハンテープで仮止めしておく、作業がしやすくなります。

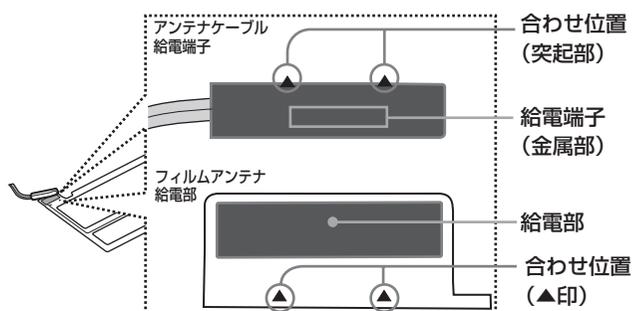


仮止め（セロハンテープなど）

仮止め（セロハンテープなど） 29

給電部への取り付けかた

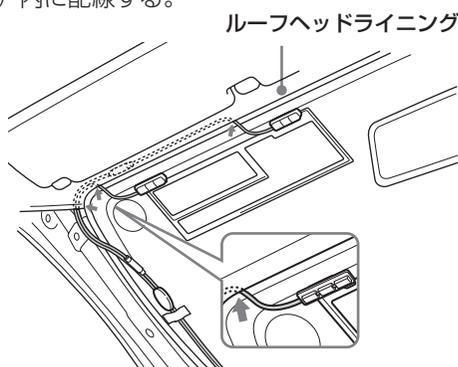
アンテナケーブルの給電端子の突起部を、フィルムアンテナの▲印に合わせて貼り付けます。(下記はアンテナ入力ケーブルの給電端子と、フィルムアンテナの給電部を拡大したものです。)



ご注意

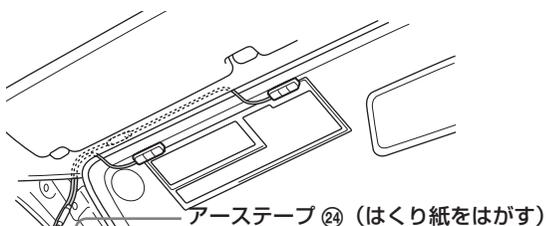
- ルーフヘッドライニングの端の部分少し下げ、ケーブルをルーフヘッドライニング内に収めてください。
- ルーフヘッドライニングに無理な力を加えて、折り曲がらないように注意してください。
- 給電部に負担をかけないように、給電部を手で押さえながら作業してください。
- アンテナ入力ケーブルを強く引っ張ったり、ストレスやかみ込みがないように、コードを配線してください。

- 3 アンテナ入力ケーブル ⑳ をルーフヘッドライニング (天井の内張り) 内に配線する。



6 アンテナ入力ケーブル ㉒ を車に配線する

- 1 ボディーにアーステープ ㉔ を貼り付ける。
アンテナ入力ケーブルのアース端子が届く範囲内で、車の板金部の平らな部分にアーステープを貼り付けてください。



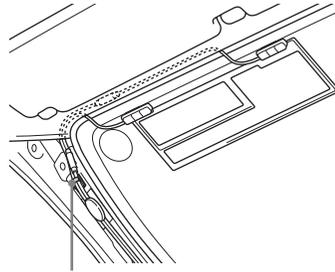
アース端子 (はくり紙をはがす)

- 2 アーステープ ㉔ の上に、アース端子を貼り付ける。
アース端子のはくり紙をはがし、アーステープに全体を貼り付けてください。アーステープからはみ出したり、貼り付いていない部分がないことを確認してください。

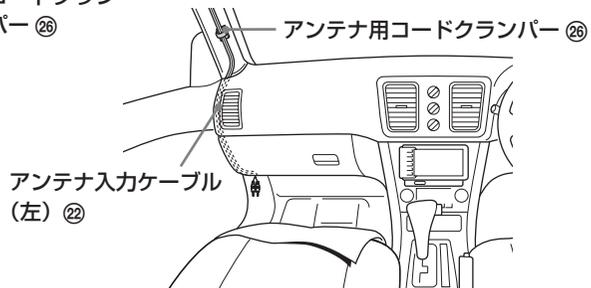
ご注意

- 貼り付け面の汚れは、よく拭き取ってください。
- アーステープは、必ず車両の平らな金属部分に全体を貼り付けてください。平面でない部分や、クリップ穴部、ネジ穴部などには貼り付けしないでください。また、ボディの塗装をはがさないでください。

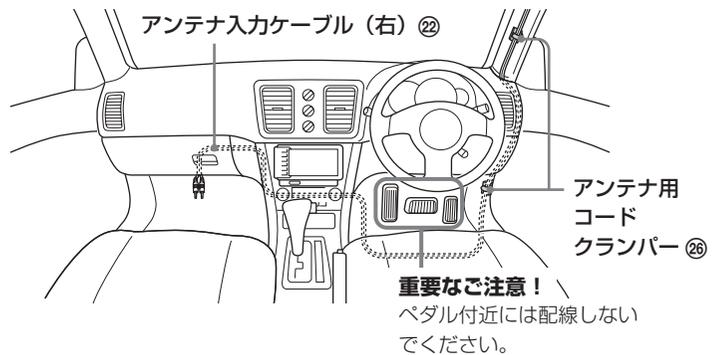
- 3 付属のアンテナ用コードクランパー^㉔でケーブルを固定しながら、アンテナ入力ケーブルを配線する。
フロントピラーを取り付けたときにコードがかみ込まれない位置に配線してください。



アンテナ用
コードクラン
パー^㉔



アンテナ入力ケーブル
(左)^㉔



アンテナ入力ケーブル (右)^㉔

アンテナ用
コード
クランパー^㉔

重要なお注意!
ペダル付近には配線しないでください。

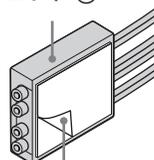
重要なお注意

コード類は運転操作の妨げにならないようテープなどでまとめてください。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付かないようにしてください。

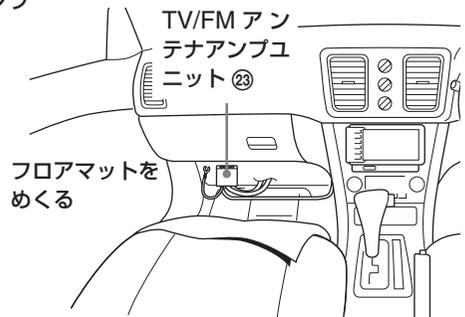
7 TV/FM アンテナアンプユニット^㉓を取り付ける

- 1 TV/FM アンテナアンプユニットを車両に取り付ける。
ケーブルが拡張ユニットに届く範囲内で、助手席足元の脇のフロア部分などに取り付けてください。(貼り付け面の汚れはよく拭き取ってください。)

TV/FM アンテナアンブ
ユニット^㉓



はくり紙をはがす



TV/FM アン
テナアンブ
ユニット^㉓

フロアマットを
めくる

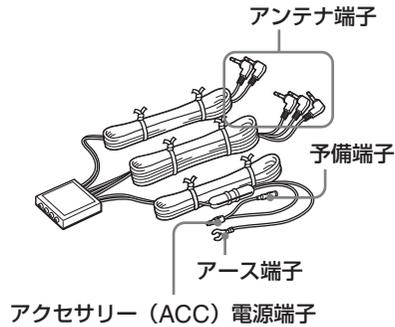
重要なお注意

TV/FM アンテナアンプユニットがブレーキペダルの下に挟まるとたいへん危険です。必ず助手席側に取り付けてください。

ご注意

TV/FM-VICS のタグの付いたアンテナ入力ケーブルは、必ず TV/FM アンテナアンプユニットの TV/FM-VICS 端子に接続してください。違う端子に接続すると、FM VICS の受信がしづらくなります。

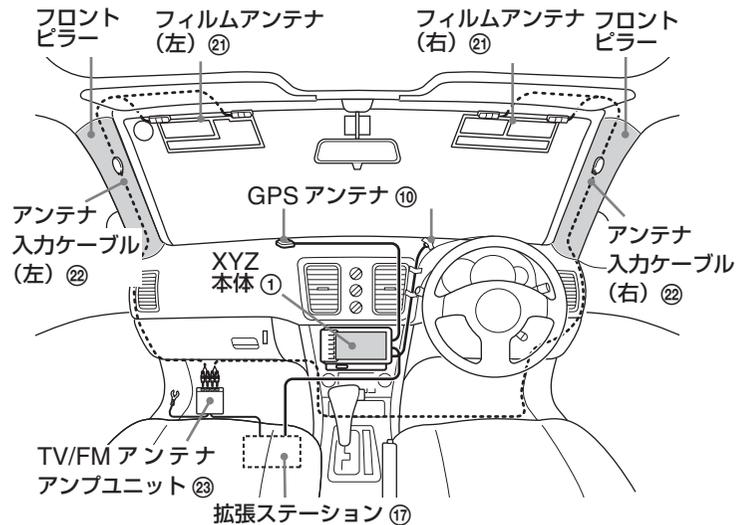
- 2 TV/FM アンテナアンプユニットから出ているアースコードを、ボディーアースの取れる車両金属部に固定する。
- 3 アンテナ入力ケーブルを、表示 (1、2、3、TV/FM-VICS) にあわせて TV/FM アンテナアンプユニットに接続する。
- 4 TV/FM アンテナユニットを拡張ステーション ⑰ と接続する。
 - TV/FM アンテナアンプユニット ⑳ のアンテナ端子 (L 型) を、拡張ステーション ⑰ に接続する。
FM/VICS 用端子は拡張ステーションの FM/VICS 端子に接続してください。TV アンテナ用の 4 本の端子は、どのアンテナ入力に差し込んでも構いません。



- 5 アクセサリー電源端子を、車両側のアクセサリ (ACC) 電源に接続する。
 - 拡張ステーションからのアクセサリ (ACC) 電源コードは、予備端子に接続してください。
 - 直接バッテリーには接続しないでください。

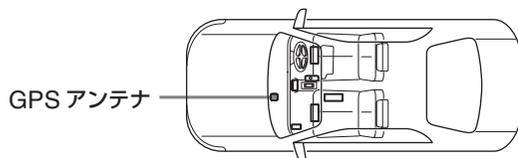
8 フロントピラー (内張り) を元に戻す

9 コードを処理する



5

GPS アンテナを取り付ける



ご注意

- GPS 衛星からの電波を遮るものがない場所を選び、できるだけ広く電波が受けられるように取り付けてください。車内に適する場所がない場合は、車外に取り付けてください。
- 一部のウィンドウガラス（フロント、リアとも）には、GPS 衛星の電波を通さないものがあります。GPS アンテナを車内に取り付けるときは、あらかじめ取り付け位置で GPS アンテナの受信を確認してから完全に取り付けてください。

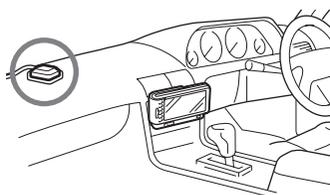
ご注意

GPS アンテナは、XYZ 本体、VICS ビーコンユニット NVA-VB4/VB5（別売り）と離して設置してください。近づけて設置すると、GPS の受信状態が不安定になることがあります。

車内に取り付ける場合

ダッシュボードやリアトレイに取り付けます。平らな位置に、GPS アンテナ ⑩ が水平になるように取り付けてください。

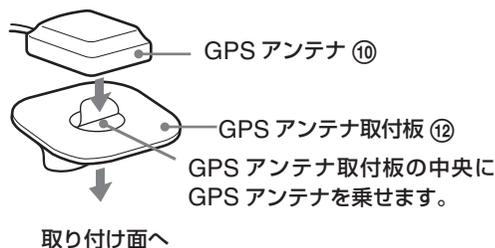
- 両面テープで貼り付ける前に、車内のインテリアやワイパーブレードの陰に隠れないよう、正しく受信できることを確認してください。
- 水平な場所に取り付けられない場合は、取り付け面の曲面に合わせて GPS アンテナ取付板を折り曲げてから取り付けてください。
- 取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。
- 取り付け面の表面温度が低いと両面テープの接着力が弱くなるので、ヘアードライヤーなどで温めてから貼り付けてください。



ご注意

必ず GPS アンテナ取付板 ⑫ を使用して取り付けてください。使用しないと、十分な受信感度が得られません。

GPS アンテナ取付板 ⑫ の中央に GPS アンテナ ⑩ を載せ、裏面のはくり紙をはがして取り付け面へ固定する



ご注意

- 取り付けるときは、車のボディを傷付けないように静かにおいでください。
- コードを車外でたるませたままにしないでください。
- コードを固定するときは、必要に応じて付属のコードクランパー^⑬をご使用ください。
- 取りはずすときにコードを引っ張らないでください。磁石が強力なため、コードが抜けることがあります。
- 自動洗車機で洗車するときは、GPS アンテナを外してください。GPS アンテナが外れて車のボディを傷付けることがあります。
- GPS アンテナケーブルは、GPS の信号と GPS アンテナへの直流電源が通っています。配線にあたっては、車体可動部へのかみ込みにご注意ください。ケーブルを破損すると、GPS アンテナおよび本体の故障の原因となります。

アルミや FRP ボディの車に取り付ける場合

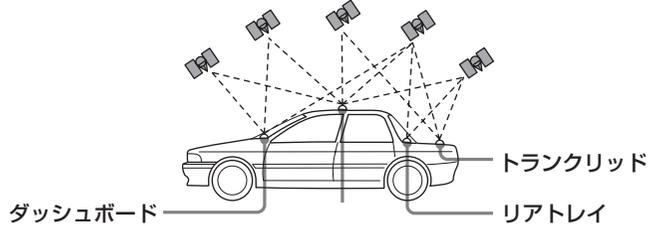
アルミや FRP ボディの車には磁石で取り付けられませんので、車内に取り付けてください。

GPS アンテナの塗装について

GPS アンテナは車のボディカラーに合わせて塗装できますが、金属粉が含まれる塗料（メタリック系の塗装など）は、受信感度の低下や受信不能の原因になるため使用しないでください。また塗装するときに GPS アンテナを分解しないでください。

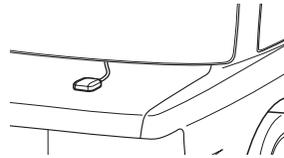
車外に取り付ける場合

GPS アンテナ^⑩は、磁石（内蔵）で取り付けます。GPS 衛星の電波が車のボディなどで遮られない場所（車外のルーフやトランクリッドなど）に、水平に取り付けてください。



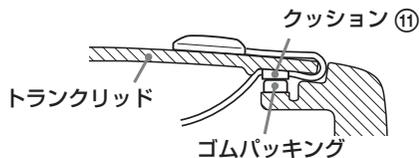
1 トランクリッドなどの上に取り付ける

取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。



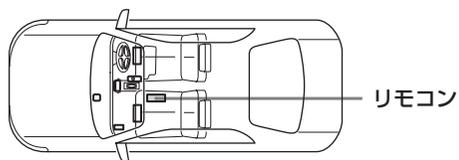
2 トランクリッドの裏側にクッション^⑪を取り付ける

雨水がコードを伝わって車内に浸入しないように、トランクリッドを閉めたときに、ゴムパッキングの上にクッションが当たるように取り付けてください。



6

リモコンを取り付ける



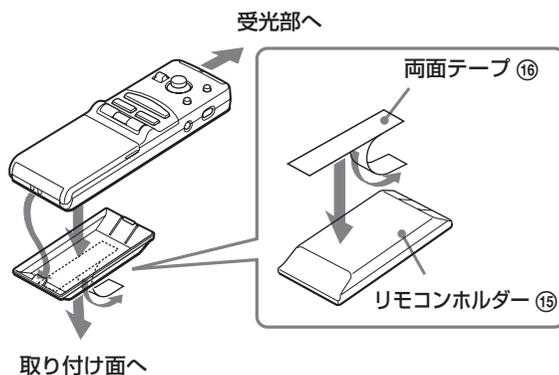
リモコン

ご注意

- 次のような場所への取り付けは避けてください。
 - シフトレバーやサイドブレーキなどの操作の妨げになる所
 - 運転席、助手席のシートの前後、上下など可動部の妨げになる所
 - ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の熱によって変形するおそれのある所
- 取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。

両面テープ^⑬で、リモコン^⑭と受光部が向き合うように取り付ける

- シフトレバーの脇などの操作しやすい場所に固定してください。
- 両面テープを取り付ける前に、リモコン操作が正しくできることを確認してください。

リモコン^⑭

受光部へ

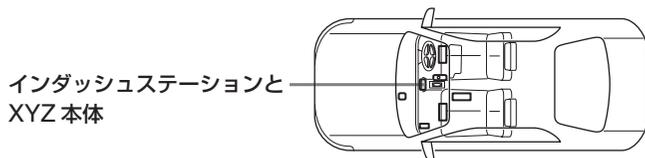
両面テープ^⑬リモコンホルダー^⑮

取り付け面へ

7

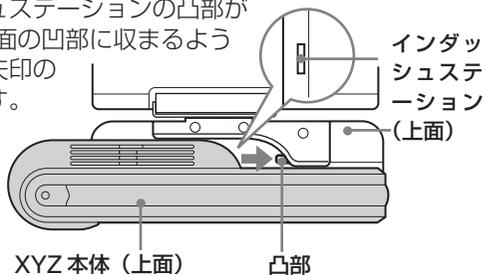
取り付けと接続が終わったら

取り付けと接続が終わったら、XYZ 本体をインダッシュステーションに取り付け、車のエンジンをかけて本体を起動させます。

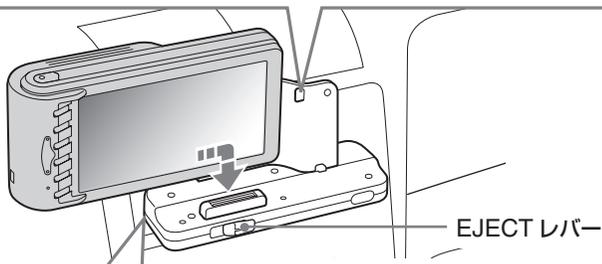


XYZ 本体を取り付ける

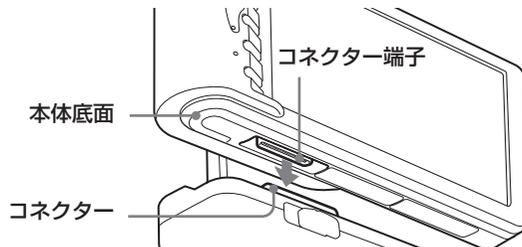
- ① インダッシュステーションの凸部が XYZ 本体背面の凹部に収まるように、本体を矢印の方向へずらす。



XYZ 本体を取りはずすには EJECT レバーの先端を手前に立て、本体を支えながら EJECT レバーを左にずらして取りはずします。取りはずしたら、EJECT レバーの先端は右へ倒してください。



- ② XYZ 本体底部のコネクター端子をインダッシュステーションのコネクターに「カチッ」と音がするまで差し込む。



車のエンジンをかけて起動させる

1 エンジンをかける

ちょっと一言

XYZ 本体は、拡張ステーションが接続された 5 台までの車の車種と、その自律航法の学習値を XYZ 本体に記憶し、XYZ 本体を車から車へ乗せ換えた際には自動的にそれらを切り替えます。なお、車種については事前に設定が必要です。設定方法について詳しくは、本体取扱説明書をご覧ください。

2 ブレーキランプ、ライト、ホーン、ウィンカーなど、すべての電装品が正しく動作することを確認する

3 本体をカーステーションに取り付け、POWER ボタンを押して電源を入れる

なお、NV-XYZ88 および拡張ステーションを初めて接続したときには、XYZ 本体のリセットボタンをつまようじの先などで押して、リセットしてください。

以下の場合リセットは不要です。ただし、下記の手順で自律航法の学習値を初期化してください。

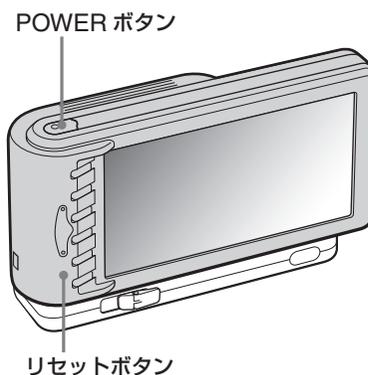
- XYZ 本体を拡張ステーションごと別の車に載せ替えたとき
- タイヤ交換をしたとき

<自律航法の学習値初期化の手順>

APPLI ボタン → 「ナビゲーション」 → MENU ボタン → 「ナビの設定をする」 → 「車種を設定する」 → 「自律航法の学習値を初期化」

ご注意

拡張ステーションが接続された 6 台目以降の車に XYZ 本体を接続すると、接続した時期の古い車の情報から順に上書きされていきます。



故障かな?と思ったら

症状

原因および処置

電源が入らない

- 電源コードが正しく接続されていない。→「インダッシュステーションに接続する」(11 ページ) または「拡張ステーションを取り付ける」(21 ページ) を参照し、接続を確認してください。
- 各コネクタが確実に差し込まれていない。→接続ポイントをすべて確認してください。
- ヒューズが切れている。→新しいヒューズと交換してください。ヒューズが切れた原因が不明な場合は、お買い上げ店にご相談ください。
- XYZ 本体の POWER ボタンを長押しして電源を切った。→POWER ボタンを押す。POWER ボタンを長押しして電源を切った場合には、POWER ボタンを押して電源を入れる必要があります。

テレビが映らない

- TV アンテナのアンテナ入力ケーブルとアンテナアンプユニットが接続されていない。→「TV アンテナを取り付ける」(25 ページ) を参照し、アンテナ入力ケーブルとアンテナアンプユニットを接続してください。
- TV アンテナのアンプユニットと拡張ステーションが接続されていない。→「TV アンテナを取り付ける」(25 ページ) を参照し、アンプユニットの接続コードを接続してください。
- 若草色コードと車両側のパーキングブレーキスイッチコードが接続されていない。→接続してください。

画面がつぶれる、流れる、色がつかない

- 各コネクタが確実に差し込まれていない。→接続ポイントをすべて確認してください。

画面に線、斑点状のノイズが現れる

- 接続コード、TV/FM アンテナアンプユニットからのコード、電源コードなどの各コードは、できるだけ離して取り付け、配置してください。

テレビやビデオ、音楽など、ナビゲーション以外の音声に雑音が入る

- FM モジュレーター用コードや電源コードなどの各コードは、できるだけ離して取り付け、設置してください。
- 周辺地域のラジオ放送の周波数と重なって、その影響を受けることがあります。違う周波数に再設定して確認してください。

FM VICS やテレビが受信しづらい

- TV/FM-VICS のタグの付いたアンテナ入力ケーブルが、TV/FM アンテナアンプユニットの TV/FM VICS 端子に接続されているか確認してください。違う端子に接続されていると、FM VICS の受信がしづらくなります。
- フィルムアンテナのアンテナ入力ケーブルのアース端子が、正しく取り付けられているかを確認してください。正しく取り付けられていないと、FM VICS の受信感度が著しく低下します。
- 車種によっては、電波を通さないガラスを使用している場合があります。(25 ページ参照) 詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

症状

GPSを受信しない。
(自転車位置が動かない。)

原因および処置

GPSアンテナが正しく接続されているか確認してください。

GPS受信状態を確認するには：APPLI ボタン→「ナビゲーション」
→ MENU ボタン→「ナビの設定をする」→「GPS受信状況を確認する」

- XYZ本体のリセットボタンを押してください。→GPSのアンテナ端子が確実に接続されているか確認してください。
- 室内にGPSアンテナを取り付けている場合
 - － 必ず付属のGPSアンテナ取付板をご使用ください。
 - － 車種により、GPS衛星からの電波を通さないガラスを使用している場合がある。GPSアンテナを車外に取り付けてください。
 - － ガラスの電熱線やワイパーなどで、電波が遮られている場合がある。GPSアンテナの取り付け位置を変えてみてください。
 - － GPSアンテナを車外に出して、受信できるか確認してください。GPSアンテナを車外に出して受信できた場合は、GPSアンテナの設置場所を変えてみてください。
- 地下駐車場やビルの谷間などでは、GPS衛星の電波がさえぎられて受信できない。見通し良い場所に移動して再確認してください。

自転車位置がずれる。

- GPS衛星からの電波の誤差が大きい(GPS衛星からの電波は、最悪時で数百メートルの誤差があります)。拡張ステーションを接続していない場合、自転車が停止中であっても、現在位置や方向がずれてしまうことがあります。
- 自律航法の学習が終了していない。取り付け直後は学習が完了していないため、誤差が大きくなる場合があります(しばらく走行すると正しい測位をします)。
- 自律航法の学習結果に誤差が生じている。リセットボタンを押して、もう一度、学習を行ってください(詳しくは37ページをご覧ください)。
- 取り付けが正しく行われていないため自律航法/マップマッチングの誤差が生じています。

自転車位置を正しく表示するには、本機を正しく取り付けることが重要です。本書「取り付けと接続」に従い、正しく取り付けられているか確認してください。正しく取り付けられていないと、自転車位置がずれることがあります。

- － 車速センサーコードやGPSアンテナが正しく確実に接続されているか確認してください。

接続状態を確認するには：APPLI ボタン→「ナビゲーション」→ MENU ボタン→「ナビの設定をする」→「接続情報を確認する」

- － 車速センサーコードを接続している場合は、必ずバックランプの電源コードへの接続も行ってください。接続しないと、自転車位置がバック時に前進表示され、ずれてしまいます。
- － 拡張ステーションは必ず水平5度以内にしっかり取り付けてください。
- － GPSアンテナは、XYZ本体やビーコンユニット、レーダー探知機、携帯電話から離して設置してください。近づけて設置すると、GPSの受信状態が不安定になることがあります。
- GPSアンテナをGPS衛星からの電波を遮る障害物のない位置に設置して、GPSアンテナの受信状態を確認してください。

GPSの受信状況を確認するには：APPLI ボタン→「ナビゲーション」→ MENU ボタン→「ナビの設定をする」→「GPS受信状況を確認する」

- 拡張ステーションごと別の車に載せ替えたり、タイヤを交換した場合には、自律航法の学習値を初期化してください。

初期化するには：APPLI ボタン→「ナビゲーション」→ MENU ボタン→「ナビの設定をする」→「車種を設定する」→「自律航法の学習値を初期化」

ソニー FAX インフォメーションサービスのご案内 (FAX 付電話でご利用になれます)

カーフィッティング FAX サービス

車種メーカー、車種・車種形式別のカーオーディオ部の取り外し方法、
各種センサー位置等の資料

24 時間
お手元の FAX で
資料が取り出せます

- インデックスの入手 / 03-3552-7209 → 車種メーカー別の BOX 番号を受信
- 資料請求 / 03-3552-7488 → アナウンスに従いご希望の車種の該当 BOX 番号を入力してください。

- ソニー FAX インフォメーションサービスをご利用の際のインデックス入手料・資料請求は通話料のみお客様のご負担となります。また FAX の機能によっては受信できない場合があります。
- FAX サービスのメンテナンス日は **毎月第 2 木曜日 午前 8 : 00 ~ 午後 11 : 00** となっております。ご迷惑をおかけしますが、当日前記時間帯は資料を取り出すことはできません。ご了承ください。(第 2 木曜日が祭日の場合は前日の水曜日をメンテナンス日とさせていただきます。)



正しい取り付け
正しい操作で
安全運転



NV-XYZ88

- 主なはんだ付けに無鉛はんだを使用しています。
- 包装用緩衝材に段ボールを使用しています。
- 外装の表層に 100% 雑誌古紙を使用しています。
- 主なプリント配線板にハロゲン系難燃剤を使用していません。
- この説明書は 100% 古紙再生紙と VOC (揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキを使用しています。

NVA-DS1

- 主なはんだ付けに無鉛はんだを使用しています。
- 包装用緩衝材に発泡スチロールを使用しています。
- 主なキャビネットおよび主なプリント配線板にハロゲン系難燃剤を使用していません。
- この説明書は 100% 古紙再生紙と VOC (揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキを使用しています。

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

- <http://www.sony.co.jp/SonyDrive/>

お客様ご相談センター

- ナビダイヤル ☎0570-00-3311

(全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます)

- 携帯電話・PHSでのご利用は...03-5448-3311

(ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください)

- FAX 0466-31-2595

受付時間 : 月~金 9:00~20:00 土・日・祝日 9:00~17:00
お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35